

# 令和2年 シンポジウム

## 令和はじめての新春に建築設計業界に期待する

### —設計業務を外から考える—

令和2年1月29日(水)

講演時間:14:00~15:30(受付 13:30~)

会場:明治記念館 孔雀の間 (港区元赤坂 2-2-23)

定員:150名 ※定員に達し次第、締め切りとなります。

参加費:協会会員・招待者・後援団体会員・学生無料

★CPD (1単位) 認定予定

#### <テーマ>

建築設計事務所を取り巻く厳しい環境、将来を見通せない経済、日々進歩する技術など、喫緊の課題は山積しています。そこで、会員の皆様が今後に期待を持ち、明るい未来を語り合え、考えるシンポジウムを企画しました。

年号が改まって初めての新春にあたり、業界内外から見て建築設計業界に期待することを、単体の建築空間ではなくそこに関わるマクロな目で都市の視点、建築群の視点、発注者・消費者の視点を持つ著名な登壇者に語っていただきます。同時にその意見に対して会場の質疑応答を含めてディスカッションを行います。

出席者の方々より、ご自身に関われた業務をもとに、建築設計者に対して期待する点のみならず課題や問題点も指摘していただきます。我々建築設計者を包含する大きな視点から、これからの日本の都市・まちについて考えていきます。

#### ◆パネラー



鈴木 昭利 氏  
新宿区副区長

新宿駅の東西自由通路の建設等様々な計画を進める新宿区において、「暮らしと賑わいの交流創造都市」の実現を目指して活躍している。



東 利恵 氏  
建築家  
東環境・建築研究所主宰

「星のや」などのリゾート建築から商業建築、住宅まで幅広く設計を行っている。文化や地域性、環境などを考慮し、建築から内装、家具までを手掛けている。



村木 美貴 氏  
千葉大学  
工学研究院教授

都市計画学、都市環境学の学識経験者として、日本の計画制度、主要都市での街づくり等を精力的に推進している。



大森 有理 氏  
弁護士  
大森法律事務所

国土交通省住宅局勤務を経て、現在弁護士として活躍している。発注者、設計者、施工者、監理者等の立場からの建築分野に関わる案件を多く取り扱う。



大森 晃彦 氏  
株式会社建築メディア  
研究所代表者

雑誌「新建築」の編集長を経て現任。建築物の写真や動画を重視して建築を「伝えること」に心を砕き、建築メディアの新たな在り方を模索している。

後援予定: (一社) 日本建築士事務所協会連合会 (一社) 東京建築士会 (公社) 日本建築家協会 関東甲信越支部 (一社) 日本建築学会 関東支部  
(一社) 東京都設備設計事務所協会 (一社) 東京構造設計事務所協会 (一社) 日本建築積算事務所協会 関東支部

一般社団法人東京都建築士事務所協会 〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-17-17 渡菱ビル 3 F

TEL03-3203-2601 FAX03-3203-2602 Mail: jimu9@taaf.or.jp URL: https://www.taaf.or.jp/

